

NEWS RELEASE

2023 年 3 月 15 日

サプライヤーミーティングを実施

—島根発のグローバルカンパニー実現へ向け、協力会社 120 社と連携強化を確認—

リョーノーファクトリー株式会社（本社：島根県松江市、代表取締役社長：金塚 巧）は、来年度の事業方針説明と今後の連携強化のため、3 月 14 日松江市において協力会社 120 社を招待してサプライヤーミーティングを開催し、来年度へ向けての結束を確認しました。

三菱マヒンドラ農機のグループ会社で農業機械の生産を担当するリョーノーファクトリーは、コロナ渦の影響もありしばらく対面で開催できていなかったサプライヤーミーティングを 4 年振りに開催しました。本会議では、三菱マヒンドラ農機株式会社の CEO 取締役社長 齋藤 徹より、「私たちは“島根発のグローバルカンパニー”を目指している。メーカーは商品が一丁目一番地。商品の魅力度向上の為、世界に誇れるものづくり技術を持つ皆様の協力をお願いしたい」と挨拶を行いました。また、リョーノーファクトリー代表取締役社長の金塚巧は 4 月からの新体制を紹介するとともに「品質・コスト・納期の課題を改善し、お客様に喜ばれるモノづくりをする事でともに事業拡大を目指そう」と訴えました。

三菱マヒンドラ農機グループは佐藤忠次郎が松江市東出雲町にて回転式稲麦扱機等の農機具を製造販売する佐藤商会を創立したことを始まりとし、来年で 110 周年を迎えます。今後も島根発の農業機械メーカーとして世界へ向けて挑戦を続け、地域の皆様と共に発展していくため、積極的な製品開発と品質の向上に取り組んでまいります。



CEO 齋藤からのビデオメッセージ



リョーノーファクトリー社長 金塚挨拶

以上